

今週の

いきもの広場

① ツチグリ



クリのように見えますが、キノコの仲間です。中には胞子がつまっています。雨粒が落ちて当たると真ん中の穴から胞子が飛び出します。

② オオモノサシトンボ



お腹の部分に、ものさしの目盛りのような模様があることから名前が付けられました。

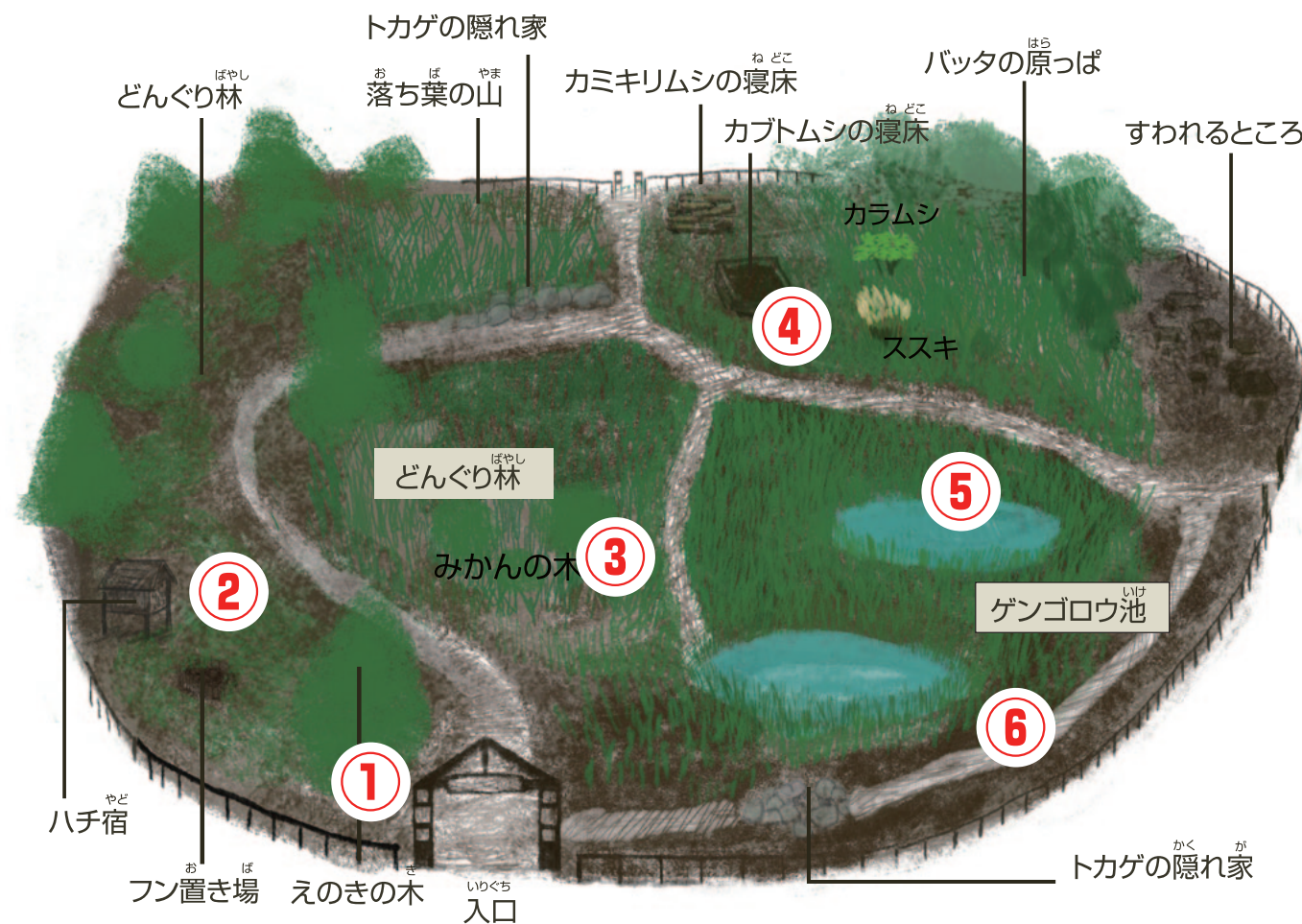
③ キタキチョウの幼虫とさなぎ

ネムノキの葉を食べます。現在、様々な大きさの幼虫や、さなぎを見ることができます。成虫も広場内を飛んでいます。



いきもの広場 毎週日曜日 11:00～12:00 *開催時間外はお入りいただけません。

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。最近では涼しくなり、実が色づき秋らしい雰囲気が感じられます。



⑥ ジョロウグモ



メス(写真)はオスよりも、体が大きいです。今の時期は交尾をする時期で、メスの巣にオスが一緒にいる姿が見られます。

⑤ アキアカネ



全身が真っ赤なショウジョウトンボとは違い、頭と胸の部分は赤くないのが特徴です。

④ オオカマキリの卵



カラムシに産みつけられていました。卵で越冬し、春になると中からたくさんの赤ちゃんカマキリが出てきます。

ガマズミの実がみのっています

ガマズミの実、鳥たちに見つけてもらいやすいように赤色をしています。鳥たちに食べられ、より遠くへ種子を運んでほしいためです。



2015.10.11